



福岡県立浮羽究真館高等学校 新たな学びプロジェクト 「ICTを使って、全ての生徒が50分間学び続ける授業づくり」

本校の概要

- 【教育目標】 校訓「立志・錬磨・不愧」の精神に基づき、うきは市唯一の県立高校として、将来の日本を担うグローバル人材を育成する。
- 【重点目標】 (1) 「高い志」の育成
(2) 「確かな学力」の育成 → 「学びの共同体」による授業改革の推進
～全ての生徒が50分間学び続ける授業づくり～
(3) 「豊かな人間性」の育成

本年度の取組

【学年毎の公開授業(月1回)の実施(10月より)】

各学年ごとに1名が授業を行う。生徒が学ぶ姿を学年の職員が観察することで、教師が学ぶ。
スーパーバイザー
九州学びの会
会長 藤木文博氏



【この目標を達成するためのICTの活用】

パソコン2教室、電子黒板6台とタブレット15台を活用中!

簿記
パソコンを使って



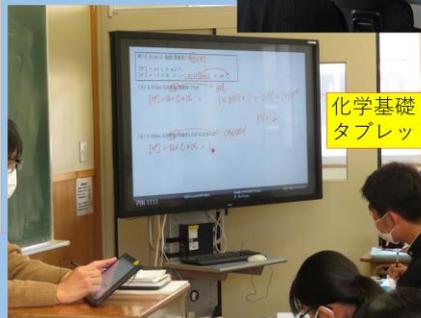
【職員研修会】

- 4月 新転任者への「学び合い」オリエンテーション
- 7月 ICTに関する校内職員研修
- 9月 学びの共同体・教師の専門性に関する研修会



講師
麻布教育研究所
永島孝嗣氏

化学基礎
タブレットと連動させて



日本史
資料を分かりやすく拡大



世界史
時代背景や人物像を分かりやすく



家庭基礎
分からない生徒が確認する手縫い動画

成果と今後の見通し

【成果】

- ・電子黒板やタブレット、TeamsやOneDriveなどの有効な使い方について再認識できた。
- ・生徒の興味・関心を引き出し、学びに対する意欲を持たせることができた。

【課題】

- ・ICT教材の作成に追われてしまうため、生徒に学ばせたいことを見失わないこと。
- ・全ての授業において、全ての生徒が学び続けることができる授業づくりを行う。

【今後の見通し】

- ・来年度以降も継続して公開授業を行いながら、全ての授業において生徒が学び続ける授業づくりにつなげる。
- ・今年度末、全教室に電子黒板が配置されるため、生徒が学ぶための授業づくりにつなげる。